

## Augmented Q&A System

~~~~~円滑な問題解決を目指して~~~~~

思索駆動コース  
工藤 信一郎

### 1.背景：「質問」しづらくない？

イベントに参加した時質問のしづらさを感じたことはありませんか？

- 普段あったことのない人への質問へ踏み切れない。
- 質問に関する暗黙のルールが怖い。
- 他者に内容が伝わるか心配になる。

こういった時に、気軽に質問ができたらうれしくないですか？  
質問できず後悔したことはないですか？

### 2.仮説：じゃどうしたらよさそう？

インターネットで調べる方法がわからないとき、ステータス表示があれば単純な質問でも、質問をしながら調査ができる。構造化があれば、自由記述欄に整理して書くのが苦手な人でも安心して記載することができる？

- 質問の構造化。
- 質問者と解答者のステータス表示。
- 構造化されているので、データとして用いることが可能。

機能として上記の機能を質問システムとして提供をすることができれば

Augmented Q&A Systemの作成に至る

### 3.調査：現実と想像の違いを確認！

プロトタイプ作成参考としてイベント内の問題を確認するために、SecHack365のトレーニーとトレーナーにアンケートを行い結果を得た。

アンケート結果

#### トレーニー側へのアンケート (11人)

トレーナーに質問しにくい？  
はい：63.8% いいえ：27.3%

トレーニーの質問をすることに対し感じていること。

- 調べればわかるかもしれない。
- どうやって質問すればいいかわからない。
- 知識量の差による質問のしづらさ
- 質問するのが恥ずかしい。

#### トレーナー側へのアンケート (9人)

トレーニーからのアンケートは少ないか？  
はい：77.8% いいえ：22.2%

トレーナーの質問に対する考え方。

- 進捗が停滞しているなら相談してもらいたい。
- 整理できない段階や域をできるように質問してほしい。

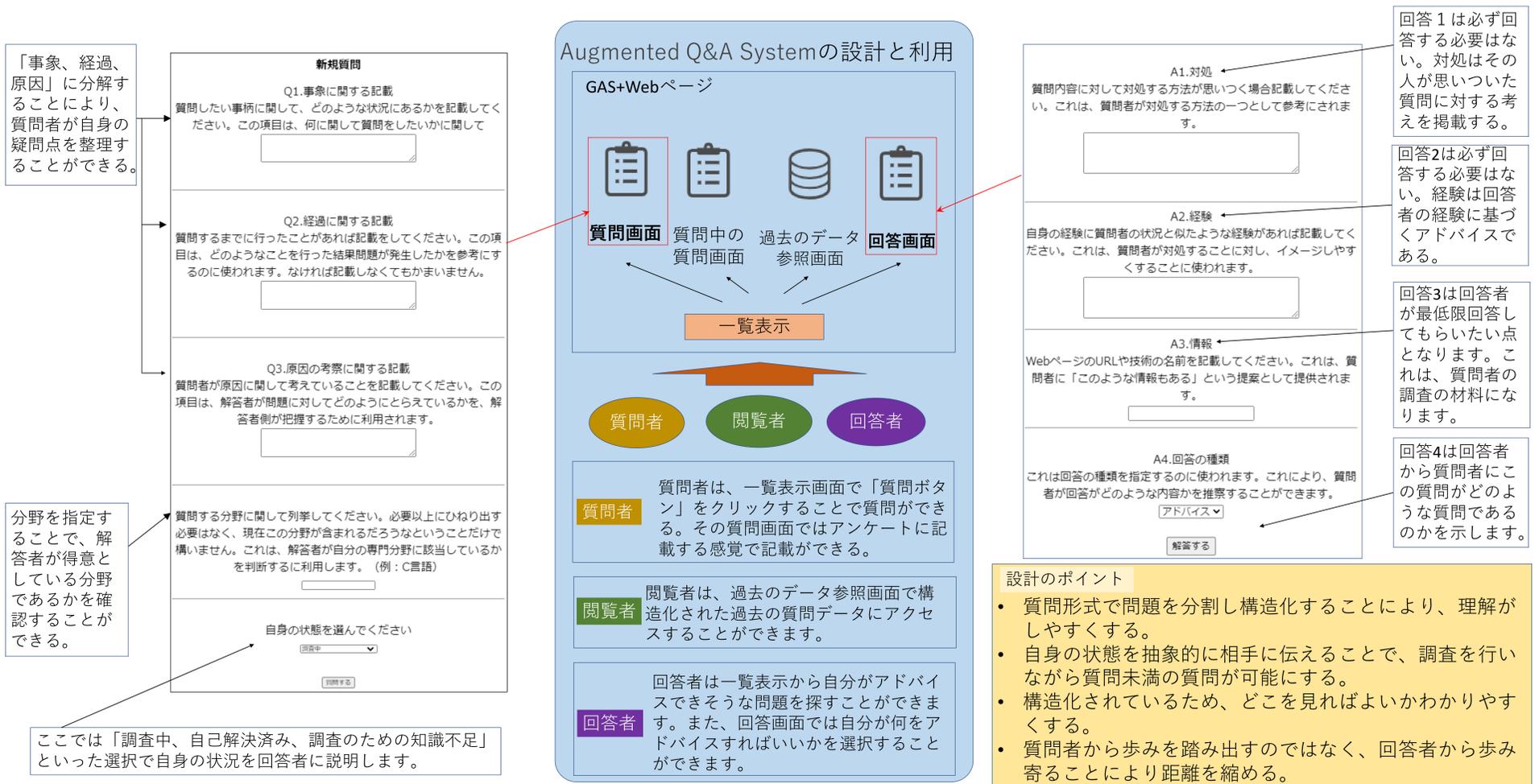
#### アンケートの分析

トレーニーとトレーナーの認識の齟齬が存在している。また、トレーニー側が様々な質問における暗黙のルールに引っ張られてしまっている印象を受ける。

それらを意識しないようにしてあげればいいのか？

### 4.提案：こんなものを作ってみました！

先ほどの仮説とアンケート結果に基づき、GAS (Google App Script) を用いてWebアプリケーションの作成を行った。



### 5.結果：これがあるとどうなるかって？

自分自身がプロトタイプを試したところ以下のことを感じた

- 質問内容を構造化しているため、自由記述欄の場合だと記述内容に悩んでしまう点が軽減された。
- 自分の状態を記載し回答者に提示する方式は、相手に自分の状況を教えることで心理的負担の軽減になると感じた。また、選択式にすることで悩むことを回避できると感じた。
- 質問者が回答者にどう思われるかという心理的負担の軽減はまだできていないと感じた。

### 6.今後：これからどうするか？

- イベントだけでなく、コミュニティや講演の質問への活用。
- Webアプリケーションだけに縛るのではなく、フレームワークのような立ち位置へとしたい。
- 回答の質を担保するためのいいね機能等の追加。
- 他のトレーニーにもプロトタイプを試してもらいたい。
- セキュリティに関する失敗をした時の問題解決に役立てたい。